

令和6年度 事業計画

<基本方針>

令和6年能登半島地震において、被災された皆様方には心からお見舞いを申し上げます。

被災地域と日常生活の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、経済は、ウクライナ・中東情勢、円安・物価高騰など不安材料はありますが、コロナが5類に移行したことから、インバウンド需要や阪神タイガースが38年ぶりに日本一に輝き、関西では経済波及効果の影響で、景気も緩やかに拡大している状況です。

それにより、さらなる人流増加による人材の需要が増加し、人手不足に追い打ちをかけることが懸念され、定年延長などの影響からも、当センターの会員数が減少傾向となっています。

そのため、「会員の拡大」が重要課題であり、特に女性会員を重点として、退職者などを通じ個々のニーズに即した幅広い層の入会を促進し、会員が活躍することがセンターに求められる役割と考えます。

少子高齢化が進展する中、地域に密着した高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実、健康の増進、地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献しているセンターの取組は、SDGs「持続可能な開発目標」と深くつながるものであり、その事業を推進していきます。

そして、センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」に基づき、会員・役職員が一体となり関係機関と連携を強め、就業機会の拡大・適正就業の推進・安全就業の徹底及び財政基盤の強化を図り、高齢者の知識・経験を生かし、「生涯現役、セカンドライフを、いきいきと」魅力あるセンターとして飛躍と発展に努めます。

<実施計画>

1 就業開拓提供事業及び受託事業管理事業

- ・ 事業所・商工会議所・ハローワーク・農協など連携し、就業機会の拡大に努めます。
農作業支援サービス及び空き家管理などからもPR活動に取組みます。
- ・ 会員の希望や特性を活かし、ホワイトカラー層・女性会員が希望する職種の拡大に努め、センターイメージの転換を図ります。
- ・ 市補助事業に係る遊休地活用事業は、山之上地区の農地でふくろうファームに取組みます。
幅広い世代の居場所づくり事業は、英語講座、網戸・障子張替体験教室、スマートフォンお助け相談会などに取組みます。
介護予防・日常生活支援総合事業の周知及び利用拡大に努めるとともに、枚方市生活支援員養成研修会を年2回実施します。
- ・ 未就業会員の解消を図るため、固定就業の改善とワークシェアリングの推進に努めます。

2 普及啓発事業

- ・ センター事業の周知を図るため、枚方市駅に電光掲示板・ホームページ・YouTubeなど啓発に取組みます。
普及啓発月間「シルバーの日」には、枚方市駅周辺で啓発活動に努めます。

- ・ 会員拡大を図るため、口コミ活動、事業所へのチラシ設置、入会説明会では「生きがいの充実と社会参加の推進」として、同好会やボランティアといった就業以外の活動も紹介することで、高齢者のニーズに幅広く応えます。

3 研修・講習会事業

- ・ 会員の就業機会を促進するため、技術向上を目的とした各種研修会・講習会を開催するなど、就業に必要な知識及び技能の習得や資質の向上に努めます。

4 安全・適正就業推進事業

- ・ 安全就業の推進を図るため、熱中症予防・パトロール強化・交通事故防止・シルバー便りへコラム掲載など、安全健康意識の高揚に努めます。
- ・ 適正就業の推進として、ワークシェアリングによる就業機会の公平化を進め、発注者及び会員に「適正就業ガイドライン」の周知を図ります。

5 調査研究事業

- ・ ふくろうファームの活用に向け、「シルバースブランドの枚方野菜作り」の研究に努めます。
- ・ 会員アンケートを実施して、会員の拡大方法及び安全健康意識などを調査します。女性会員の感性にアピールする広報・就業先及び魅力的な他市センターの取組みなどを検討します。

6 職業紹介事業

- ・ 臨時的かつ短期的な雇用による就業又は、その他の軽易な業務にかかる求人を企業等から受け、希望する高齢者が見つかった場合、発注者には、有料にて会員の斡旋を行います。

7 相談事業

- ・ 市内在住 60 歳以上の入会を希望する高齢者に月 4 回入会説明会を行います。
- ・ 就業を希望する会員には、随時就業相談・情報提供を行い、ホームページにも情報掲載に努めます。

8 労働者派遣事業

- ・ 臨時的かつ短期的な雇用による就業又は、その他の軽易な業務にかかる就業の範囲で、請負・委任による就業になじまない事業については、公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会が行う労働者派遣事業による就業を提供し、事業の推進に努めます。